

	2021年3月 福岡県公立入試分析と傾向	次年度以降の対策
国語	<p>H30年度から大問構成が4つから5つに変わったが、再び大問4つに戻った。また、出題傾向に少し変化があったため、受験生は若干戸惑ったかもしれない。文章のボリュームや問題量は例年と大きく差異はないが、試験時間が50分であることを考慮すると、情報を素早く処理していくことが要求される。今年度新たに実施された大学共通テストを意識したかのような印象を受ける設問もあった。</p> <p>大問1(説明的文章)</p> <p>出題の仕方に大きく変化があった。(1)SNSが普及した現代において、他人との関わりをもちながらも、「一人」でいられることの重要性を主旨とする説明文 (2)前述の説明文に付随した語彙・知識問題 の2つに分かれた形。</p> <p>(1)の問一では、「何が必要か」と問われている書き抜き問題に対し、本文中にある「一人でいられる力をつける(必要)」と答えては不適切。その直後の文を正答として導きたい。問5の60字以内の記述はそれほど難しくはないが、長めの記述ができるようにしておきたい。</p> <p>また、(2)の語彙・知識に関する設問では、新傾向の問題がいくつか出題された。問三の「はかる」という同訓異字を適切に見分けられたかどうか。「相手の気持ちをはかる」は、推量という熟語を連想して量の字があてられることから判断したい。問四では、これまでは行書体の漢字についてその画数に関する設問であったが、行書体で表された漢字の特徴を選択肢から選ぶものに。問五では、表現の工夫についての出題。比喻、倒置法、対句など、定番のものを理解できていれば難しくない。H31年度でも表現技法についての設問があったので傾向として押さえておきたい。</p> <p>大問2(文学的文章;小説)</p> <p>読み進めにくかった昨年に比べ、文章は読みやすい。主人公の少年の心情を中心に物語の展開を追いかけることができれば、正答を重ねられたら。新傾向として、問二では文の一部を「単語」に分ける設問が出された。これは今ま</p>	<p>大問構成が4つに戻りながらも、内容としてはH30年度～R2年度と同様、語彙・知識問題が大問1つ分として独立した出題でした。以下アドバイスです。</p> <p>①まず、国語は語彙力です。知らない言葉に出会ったときは、その都度意味を調べるなどして、語彙力を向上させていきましょう。近年の入試問題では、前述のように語彙・知識問題が大問1つ分出題されています。漢字はもちろんのこと、類義語・対義語などの熟語、慣用句やことわざ、故事成語など、日頃から身につけていくことが大切です。</p> <p>②国語文法は、苦手とする中学生が多いです。文節と単語に始まり、文節相互の関係、品詞それぞれの働きや用法、そしてその識別など、学ばなければならないものも多く、一方で入試によく出題されることも多いため対策が必須です。まずは10個の品詞を正しく見分けられるようになることから。問題を解きながら間違えながら理解することで身につきます。苦手のままにしないようにしましょう。</p> <p>③古文・漢文の古典について。受験勉強のスタートとして、短くておもしろみのある文章を選び、まずは音読から始めましょう。おおまかな意味を捉えることができれば十分です。</p> <p>④作文の対策は、普段から「書き言葉」を意識して使ってください。話し言葉や「ら抜き言葉」「さ入れ言葉」など、作文に適切でない言葉もあります。そして、試験の場合は「条件」が設定されていますから、その範囲の中で、自分の主張を書くように心がけましょう。また、作文するにあたって読み取る資料も近年は多いので、素早く情報を処理しなければなりません。</p> <p>受験勉強において、他の教科に比べて国語は最も勉強時間が少なくなりがちです。しかし、どの教科においても国語の力は必要とされます。素早く読み、理解し、過不足なく書くことができれば、それは数学・社会・理科・英語に活用できますし、そうでなければ勉強に苦勞してしまうことになるでしょう。国語を勉強することは、読む能力・書く能力を養うことにつながります。</p> <p>現中2・中1生も、一度、今年の入試問題に挑戦してみることがオススメです。学校の定期テストとは異なり、初見の文章を大問1題につき約10分で乗り切っていかな</p>

<p>で出題されたことがなく、多くの受験生が間違えやすいものであった。この問二は正答率が低くなりそうだ。ポイントは3つ。①「必死に」を「必死/に」とせず、1語の形容動詞とすることができたか。②「噛んで」を、動詞+接続助詞として「噛ん/で」と区切れたか。③「我慢した」を動詞+過去の助動詞として「我慢し/た」とできたか。</p> <p>大問3(古文)</p> <p>去年は漢文であったが、今年も古文の出題。昨年と同様に現代語訳がついたものであったため、内容は理解しやすい。問二では、古文に沿った二字の漢字を空欄に現代語で考えて書く設問であったが、H30年度の古文と同様、「(例)名人」と答えるものであった。問四の記述も、絵かきが他人の意見を聞き入れずに自分が未熟であると気づいていない、という内容を読み取ることができていれば難しくない。</p> <p>大問4(条件作文)</p> <p>資料3つを元に「食品ロス削減のために自分ができること」について書く作文。条件は多いものの、比較的書き易いテーマであった。</p>	<p>ければなりません。それも国語は入試において最も緊張する最初の教科になりますから、実は思った以上に大変です。勉強が後回しになりがちな国語だからこそ、日頃からその力を磨いていきましょう。</p>
<p>数学</p> <p>大問数はこれまで通り6題。計算小問から、式による証明、関数の利用、平面図形、空間図形と出題分野もほぼ同じ形式であった。今年の数学は、出題範囲から「三平方の定理の利用」と「標本調査」の単元が削除されたこともあり出題形式の変更も予想されたが、新傾向となる問題や大きな変更点はなかった。</p> <p>大問1 計算・小問</p> <p>問題数は9問。計算だけでなく確率や関数、図形など幅広い単元からの出題であるが、どれも基本的な問題ばかりなのでこの大問1が数学の得点源となる。</p> <p>大問2 資料の活用</p> <p>2つの紙飛行機をそれぞれ30回投げ、その飛距離の結果のグラフを使って記述形式で答える問題であった。資料を読み取り説明する問題はこれまでも何度か出題されたこともあり、解きやすい問題であっただろう。</p> <p>大問3 文字式の利用</p> <p>多くの受験生にとってここが1つのポイントとな</p>	<p>福岡県の公立入試問題の特徴として、問題文が長く、今年も昨年同様およそ150行。読むだけでも時間がかかるが、考えながら読みさらに記述解答しなければならない。記号で答える問題も目立ち始めたが、正確に答えるには問題の意図を素早く読み取る力、そして正しい知識と深い理解が必要である。例えば中2で学習する「証明」を、「仮定と結論」をしっかり区別して使いこなせるなど、表面的でなく深く理解しておくようにしたい。</p> <p>大問1の小問集合ではミスなく確実に得点していくことがポイント。当然丁寧な計算が必要だが、上位校を目指していく生徒は更に解答スピードも必要になってくる。日頃から、問題を解くときに『時間を意識して解く』という癖をつけておきたい。また2、3、4、5の記述・証明問題ではやはり練習量と、正しく理解しているかがポイントになる。今年は3の傾向がやや変わって戸惑った生徒もいたようだが、何をもとにして、どのように解くか、その途中過程を重視しつつ、幅広い問題への取り組みと練習量が必要だ。更に図形問題はそれぞれに難問が待っている。また、1の(9)は平成17年と酷似した</p>

<p>ったようだ。(1)はよくある整数の証明だが、後半は自分で結論を予想し、それを証明して答えを導くという問題だ。前半の題意を理解しそれを利用して予想を絞ることが必要だが、かなり時間をとられる問題だった。</p> <p>大問4 関数の利用 一般的な速さに関する問題であった。難易度も例年と変わらない。中堅校以上の生徒は全問正解したいところだ。</p> <p>大問5 平面図形 平行四辺形をつかった証明と面積を求める問題。「平行四辺形になる証明」を利用し、さらにその中にある三角形の合同を証明する問題。相似の証明ばかり練習していた生徒にとってはやや面を食らった問題であった。</p> <p>大問6 空間図形 後半は面積から高さを求めたり、切断した立体の体積を求めたりする問題であったが、三平方の定理を利用しない分、例年よりは解きやすかったのではないだろうか。</p> <p>全体的な難易度は例年と変わらないように感じるが、「完答」や「全解」など、部分的に理解できていても得点にならないという問題が増え、平均点は昨年よりやや下がり、30点台前半くらいになると予想される。</p>	<p>問題が出題された。過去の問題研究も十分に行っておく必要がある。</p> <p>受験生へのアドバイスとしてまず、①解くための途中過程を書くクセをつけていくこと、②用語の意味を正しく理解していくこと、③様々な問題に幅広く取り組み、題意をつかむ練習をすること、④自分の弱点を知り、苦手な単元に対してとにかく早めに、前向きにコツコツと復習、そして質問し解決することを意識して取り組んでいこう。</p> <p>できるだけ短時間で意味を正確に読み取る訓練、および問題に対して「なぜそうなるか」理解しておくことが必要。そのためには語句の意味をよく理解し、図表に表したり、ポイントとなる箇所にマーキングしたりしていくという工夫も取り入れてみよう。</p>
<p>社会 ここ数年、難化傾向にあった社会科だが、今年は一転して平易な問題が並び、記述問題も減った。短時間で処理できる問題が増えたため、時間的に厳しくなることはなかったのではないか。大問構成や地歴公の点数配分は例年と変わらず。</p> <p>大問1 歴史 記号の選択問題が多く、基本事項の知識があれば迷いなく解ける。</p> <p>大問2 歴史 近現代の歴史についての問題だが、比較的易しい。</p> <p>大問3 世界地理 気候グラフ、時差、資料の読み取りとオーソドックスな問題が並んだ。</p>	<p>来年度の受験生にアドバイス まずは基本事項を教科書ベースで確実に理解し覚えることから始めましょう。入試 2ヶ月前あたりから記述力を磨き、その精度を上げるとともに、福岡県の過去問や他の都道府県の入試問題を使い、頻出ポイントを押さえながら汎用性の高い知識へと昇華させていくことができるかどうかポイント。今年(R3)は直前数週間でトライした問題や授業で取り扱った内容が多数出題され、当塾の塾生はかなり手ごたえを感じたはず。高得点が期待できます。</p> <p>1 歴史分野について 近現代(明治以降)の比率が高くなってきており、戦後の動きもよく出題される。今年のように公民分野の最初の単元との融合問題も出されることもある。基本事項となる用語の確認とともに、「いつ」の出来事かに意識を</p>

	<p>大問 4 日本地理 都道府県と都道府県庁所在地、工業の立地、農業と気候を組み合わせた問題等。地図の読み取りが出たが、地図記号や八方位など基本事項。ただ、歴史と絡めて「屯田兵」が出たのは地歴融合問題で珍しい。</p> <p>大問 5 公民 今年度は環境問題や国際社会が削除单元となったため、出題されていない。問 2 の幸福追求の権利と問 5 のデフレについての説明および日銀の公開市場操作の箇所がやや難しい。また、問 6 のクレジットカードの利用については以前の公立高校入試と同じ出題。</p> <p>大問 6 公民 公民分野の資料の読み取りと記述問題。テーマは少子高齢化と高齢者の働く意義について。</p>	<p>置いて覚えていくことが大切である。</p> <p>2 地理分野について 例年であれば地理が難しく、ここで差がつくのだが、今年度は平易な問題が並んだ。まずは定番の問題を確実に理解することだ。資料(グラフや画像)に常日頃から触れ、抵抗なく取り組めるようにしていこう。</p> <p>3 公民分野について 今年度は削除单元の関係で出題範囲が狭まったが、来年度は元に戻ることが予測され、国際社会や環境問題の单元が戻ってくると思われる。教科書の重要用語を覚えるだけでなく、付随する資料に目を通し、知識の肉付けをしていくことが必要だ。</p>
理科	<p>生物・化学・地学・物理の 4 分野より大問 2 題ずつの出題でこれは例年通り。学年別では 1・2 年生の内容から 3 題ずつ、3 年生の内容から 2 題出題された。増加傾向にあった記述式は減少し、基本的な内容を問う問題が多く見られた。作図の問題は今年も出題され、幅広く基本的な知識・法則の理解と表現力が試された。全体的に基本的な問題が多く難易度は下がったが、計算問題がやや難化したことや細かい点まで注意力が問われている設問もあり、平均点の上昇は 2 点から 3 点程度にとどまるのではないかと見られる。</p> <p>大問 1 セキツイ動物と無セキツイ動物の特徴 【生物:中 2】 問 2 では恒温動物の体温が外温に左右されず一定に保たれることを述べる記述問題。</p> <p>大問 2 細胞分裂【生物:中 3】 問 2(1)の細胞分裂の順に並べる問題は染色体の見え方がポイントになっていて間違いやすい。(2)の記述問題は細胞の数が増えることと細胞の大きさが大きくなることの 2 点を述べることに注意が必要。</p> <p>大問 3 水とエタノールの混合物の蒸留 【化学:中 2(一部中1内容を含む)】 問 1(1)は温度計の位置を問う問題。沸騰している液体の温度を測るのではなく発生した気体</p>	<p>中学1年生・中学2年生へ 全分野・全範囲からまんべんなく出題されますので、苦手分野は早めに克服していきましょう。与えられたグラフや表・図等から必要な情報を読み取り、分析し、求められている内容に対して的確に答えることが必要とされています。単に問題を多く解くだけではなく、『なぜそうなるのか』を追究していく姿勢が大切です。</p> <p>また、単純な語句や記述文の丸暗記だけでは公立高校入試の問題には対応できません。現象や公式・法則の意味を理解し、理由をつけて答えを導き出すことを心掛けましょう。計算問題についても難易度が上がってきています。まずは易しい問題から徐々にレベルを上げていくとよいでしょう。理科が苦手な人はまずは教科書をよく読むことから始めましょう。知らなかったことや面白いことに必ず出会えますよ。今すぐ始めよう！</p>

の温度を測るのが目的。問 2 ではポリプロピレンの密度と水・エタノールの密度との大きさをそれぞれの液体に対する浮き沈みから判断する問題で水とエタノールの密度の両方について述べる必要がある。

大問 4 炭酸水素ナトリウムの分解【化学：中 2】
入試頻出の実験なのでしっかりと準備をしていた受験生には易しく感じられたと思われる。問 4 の選択肢から正解を全て選ぶ問題では水酸化ナトリウム水溶液にマグネシウムは溶けない点に注意が必要。

大問 5 露頭に見られる地層の重なりと柱状図【地学：中 1】

全体的に基本的な問題。問 4 の柱状図の問題は標高の違いを頭に入れて考えることが大切。

大問 6 天気の変化【地学：中 2】

問 2 は前線の通過について図より風向きの変化を正確に読み取る問題。問 3 は天気図の様子から春の天気の特徴を述べる問題で高気圧と低気圧の通過についても含めて述べるのが求められていて難しい。

大問 7 電流・電圧・電力量【物理：中 2】

問 3 は回路の各点における電流の大きさを比較する問題で電流と電圧の関係を正しく理解しているかが問われていてやや難しい。問 4 は電力量に関する方程式、または比例式を立てて求める問題で難しい。上位校受験者は正解したい。

大問 8 運動と力学的エネルギーの保存【物理：中 3】

問 2 はグラフより球の質量と木片が動いた距離が比例することを読み取り、比例式を立てて解く問題で難。問 3 では位置エネルギーの変化から運動エネルギーの変化を記入する問題。力学的エネルギーの和が一定であることを用いる。細かい注意が必要でやや難しい。

<p>英語</p>	<p>小学校での英語の教科化や大学入学共通テストへの変更などとも相まって、高校入試でも英語は近年難化傾向にある。問題中の語数もこの10年で200語ほど増え、同じ時間で読むべき英語の分量は増えているため、受験生は速く読んで情報を適切にとらえる力が求められる。今年の出題範囲の制限で中3の英単語には注が入ることとなったが、全体の分量が多いことと、リスニングや大問2の難化により、昨年より平均点は下がると思われる。</p> <p>リスニング 形式や内容は例年通りだが、英文を読むスピードが速いと感じた受験生が多く、瞬間的に内容や設問の答えを判断するという点では難しくなっている。Do you know where it is? に In front of the hospital. で答えるのも冷静に考えればわかるかもしれないが、Do you で始まっているため Yes や No で始まる答えを選んでしまった人もいるようだ。また「～までに」を表す by や「外国の」を意味する foreign、そして What time does the movie he wants to see start?のような後置修飾の文など、瞬間的に理解するには難しい表現も増えてきている。</p> <p>1(対話文選択)形式、難易度とも例年通り。ただ、一昔前のように Were you～?に Yes, I was.と答えるような一問一答的なものではなく、対話が行われている状況や話者それぞれの立場を流れとともにつかんで適切な応答を考えていく、文脈把握力が要求される問題になってきた。</p> <p>2(対話文読解)ロンドンでの和食教室の話から、異文化理解を深めるには実際に作ったり味わったりするのがよいという内容。昨年までは語句についての設問や条件英作文などで構成されていたが、出題傾向が大きく変わり、本文の内容や話の流れ(文脈)をとらえさせることを狙いとする設問が増えた。問1は数十年続く語句整序問題だが「It～for 人 to 動詞」の文や関係代名詞(主格)を用いた文など、ここ数年のものに比べると解きやすかった。問2、問3は流れ</p>	<p>ここ数年は語句整序(並べ替え)や英問英答、英文和訳など、そこに含まれる英文法レベルが上がっていましたが、今年は大入共通テスト同様、文法よりも英文の読解やリスニングを重視した問題になっています。</p> <p>①英単語は即答できるレベルに！</p> <p>限られた時間で分量の多い英文を読むことが求められるので、英単語を見た瞬間に意味が浮かぶ状態か意味を思い出すまでに時間がかかるかで英文全体を読む時間に大きな差が出ます。英語→日本語、日本語→英語の両方が即答できる状態になるまで、声に出したり書いたりしながら覚える習慣をつけましょう。また、visit=「訪れる」だけでなく visit + 場所(to や in など前置詞は不要)のように実際の使い方も一緒に身につけると、いざ英文を書く時に正しく書けません。辞書や教科書で実際に使われている英文と一緒に英単語は覚えるようにするのが面倒なようで実は一番の近道です。</p> <p>②英文法・英作文</p> <p>読解重視と言っても決して英文法の勉強を軽んじていいわけではありません。英文法の理解が弱いと英文の意味を取り違えてしまいます。例えば今回の英文であれば、Find a person who inspires you like Takuya(*inspire:やる気にさせる)の意味を正しく取れる英文法のレベルでないと、何となく英文を読むだけでは読み間違いだらけとなってしまっていて、結局は問題の正解率も下がってしまいます(上の英文の意味は「たくやのようにあなたをやる気にさせる人を見つけなさい」です)。また英作文などでも、言いたいことを正しい英文で書けないと減点だらけになります。英文を見た時に、使われている英文法事項に気付き、そのルールに従って日本語に直せること、また言いたいことを正しい英文で書くために必要な英文法を自分の中から引っ張り出せることなど、使えるレベルまで英文法を学ぶことが心がけましょう。そのためにも、できるだけ英文全体で覚えているものを増やしておきたいものです。</p> <p>③英文読解</p> <p>まとまった英文を読む場合は、「大意をつかむことを主眼に読む」とか、「時間がかかっても、1文1文丁寧に読む」とか、その時々テーマを決めて練習していくようにしましょう。また、本文の音声があれば、1度読んだり問題を解いたりした後で聞いて、内容を確認したり実際の発音を学んだりしてリスニングの練習もすると一石二鳥</p>
-----------	---	---

に沿って本文中の空欄に入る語句や文を選ばせる問題。問4は本文の内容についての英語の質問に対する答えを選ぶ問題だが、一部だけでなく全体の要旨を捉えておく必要がある点で難しめ。

3(エッセイ文読解)勉強にやる気の出ない信夫が毎朝早めに学校に行き勉強するようになり、頑張っている人は他の人に力を与えることを学ぶ内容。昨年は大問2で出題された条件英作文が3に移動。そのためか問1の英問英答が昨年の2問から1問に減った。問1は本文の抜き出しで解答できるので易しい。問2は本文中の難語の同意表現を選ぶ問題で最近定番化。be keen toという表現(「～に熱心だ」の意味)だが、直後に enjoy practicing hard という文があり練習に前向きだとわかるので really want to が正しいとわかる。問3も定番で下線部に関する日本語での記述問題。本文中から答えとなる部分を探し、それを正しく日本語に直すことが求められる。今回は下線部 This が指している具体的な内容を書くものだが、You and other students come to school earlier, and all of you are studying hard. と英文自体は訳しやすいものだった。問4も例年通り本文の内容と一致する選択肢を選ぶもの。選択肢ごとに本文の該当箇所と照合して異なるものを消していき正解をあぶり出すのが正攻法だが、どれだけ時間を使えるかは各々のスピードによる。問5は条件英作文。

How do you study when you are not motivated?(やる気のないときにどのように勉強しているか)という質問に自分の立場で答えるもの。こういった問題はまともに考えすぎると難しい英文を書くことになり無駄に自分を苦しめてしまうことになるので、内容から考えるよりも確実に書ける英語表現で何を言えばいいかを考えるとよい。模範解答のように I study with my friends. や、I study at the library. 程度の英文で十分。

4(自由英作文)昨年に続き、2つのものから1つ選んで自分の考えを30語以上の英文で書く問題。今年は2種類の英会話クラス(対面のグル

です。

④リスニング

高校受験だけでなく高校での学習や大学入試、さらに社会人になってもリスニング力は重要なので、普段からCDやオーディオプレーヤー、スマホなどを活用して生きた英語を聞くよう努めましょう。塾のテキストにもQRコードがついており、そこで本文の音声を聞くことができます。また Revo-English もネイティブの発音に慣れたり、瞬時に英語を理解し対応する訓練に最適です。

<p>ープ形式と1対1のオンライン形式)のどちらかを選ぶもの。「二つのクラスについて触れながら」という指示があるので、理由だけでなく選ばない方についても言及しなければならない点に注意。数十年の自由英作文の歴史の中で受験生が求められる英文が本来の英文エッセイの書き方に近づいている。</p>	
--	--